

工盤發第七四四號
大正十五年九月十六日

工船豐漁業水産組合
組長 岩倉 道 俱

外務省
坂根 殿

寶來丸杯奪事件ニ關スル報告書提出ノ件
本日組合員八木實通ヨリ當組合ニ宛テ寶來丸杯奪事件ニ關スル報告書送
付有之候ニ付右寫書左記ノ通り提出仕候間御參考迄ニ御覽被下度候

記

山本勝子

- 一、寶來丸遭難陳情書
- 一、露國監視船ノ不法行爲ニ關スル真相報告書
- 一、寶來丸事件ニ依リ蒙リタル損害届

礼務局



寶來丸遭難陳情書

REEL No. 1-0419

0420

寶來丸遭難陳情書

大正十五年八月拾日夜陰オホツク公海ニ於テ露國監視船「ブリユハノフ」
號ノ爲メ弊社工船美福丸附屬發動船寶來丸ガ突然急襲曳航セラレタル事件
ニ關シテハ當時同方面派遣警備艦羽風及帆風並ニ金鷄丸其他各工船及陸上
漁場諸氏ノ一方ナラザル援護救助ヲ蒙リ漸ク該發動船ヲ取還シ候願末ハ別
紙美福丸主任三浦玄三及同船長熊谷亥之助ヨリノ詳細ナル報告ニ依リ是ヲ
知悉スルヲ得申候

爰ニ甚ダ怪訝ニ堪ヘザルハ武装露國兵ニ伍シテ露國監視船ニ乗込ミ居タル
一邦人ノ行動是レナリ彼ハ某漁業會社ノ通譯ナルカ將タ又勞農政府直屬ノ
通譯ナルヤ末ダ審カニスルヲ得ズト雖モ此一件ハ頗ル重大ナル問題ニシテ
決シテ看過シ能ハザル所ト存候

抑モ國際的公海ニ於テ而カモ帝國軍艦及官船ノ警備指導ノ區域ニ於テ大膽
ニモ露國監視船ハ武装兵ヲ搭乘センメ闇夜荒天ニ乗ジ殊更ラ燈火ヲ消滅シ
テ突如來襲シタル行動ニ鑑ミ是ヲ考察スルニ極メテ周密ナル計畫ノ下ニ其
行動ヲ起シタルモノニシテ不意ニ就寢中ノ本船ヲ襲ヒ容易ニ之ヲ捕獲セン
ト企テタルニ非ザルナキ乎然ルニ偶々本船ニ依テ發見セラレ且ツ其要求ヲ
拒絶セララル、ニ及ンデ第二ノ手段ヲ採リ小弱ナル附屬船寶來丸ヲ襲ヒ乗組
員六名ト共ニ有無ヲ言ハサズ強奪シ去リタルガ如キ海賊的行爲ハ帝國ノ威
信ヲ侮蔑シ且ツ海洋ニ於ケル産業ヲ著シク妨害スルモノニシテ其ノ不法行
爲ハ斷ジテ許スベカラザル儀ト存候

惟フニ「オホツク」「ベーリング」及ビ日本海方面ノ洋上ニ於テ漸次發達
セントスル我が産業ニ對シ露國ハ益々巧妙ナル方法ノ下ニ疾風迅雷的ニ防
害ヲ試ミ生命財産ヲ危殆ニ陥ラシムルノ虞レナキニ非ズヤト被存候此ノ不
慮ノ急襲突撃ノ危機ニ對シ豫メ自營防禦ノ方法ヲ講ジ置クノ必要アリト信

シ候間國際公法及帝國國法ノ許ス所ニ依リ適當ナル方法ヲ講ゼラレン事ヲ切望致候就テハ別紙報告書御閱覽ノ上此ガ對策ニ付キ篤ト御考慮相仰ギ露國政府ニ對シ強硬ナル交渉ヲ開始セラレン事ヲ關係當局ニ對シ可然御陳情方御盡力之程奉願候
尙亦該事件發生ノ爲メ依ツテ相生ジ候損害ニ付テハ御懇示ノ次第モ有之候ニ付キ別紙損害明細書作成提出致候猶ホ農林、外務兩省ニ對スル損害届出ノ必要モ可有之存候得共何分ノ御差圖ヲ得テ書類提出可致奉存候也

敬具

大正十五年九月三日

株式會社八木本店

八木實通 印

工船蟹漁業水産組合

組長 男爵 岩倉道俱殿

副組長 宮地民三郎殿

侍史下



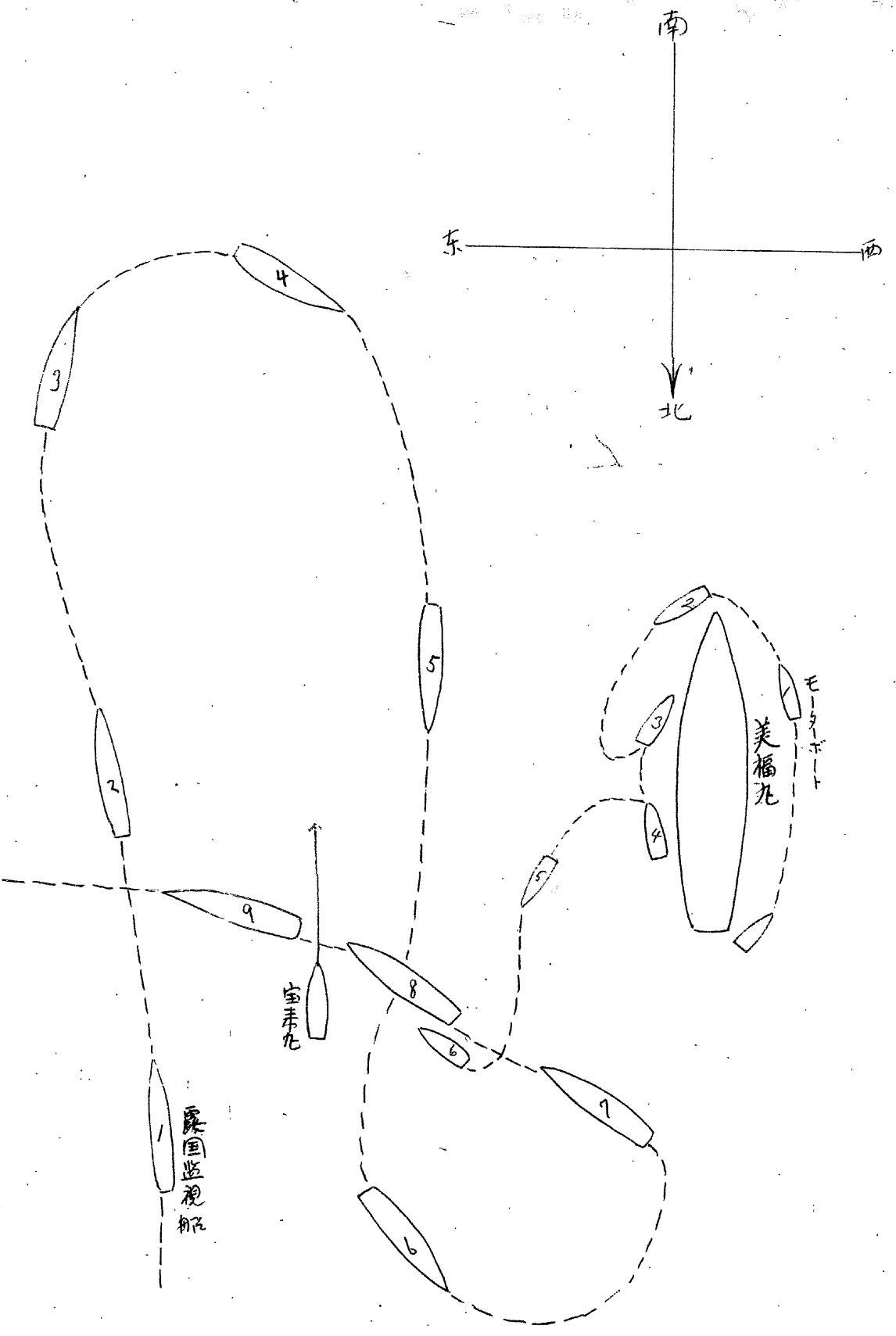
露國監視船ノ不法行爲ニ關スル真相報告書

REEL No. 1-0419

0423

沈没事件畧圖 (大正十五年八月十日 自午後十時五十分 至午後十一時五十分)

- 一本船ノ位置 北緯五十四度三十三分東經百五十五度二十九分 巨岸八哩半
- 一宝来丸ノ位置 本船ノ北東 巨岸約一哩半
- 一當時陸岸ニ最モ近キ沈没網ノ位置 巨岸約五哩半
- 一露國監視船ノ形状 三本櫓、クレーン「形三百屯位 補助発動機船
- 一 天候 荒天暗夜



一露國監視船(無燈)ヲ最初ニ発見シタル位置及時刻 (1) 午後十時五十分
 一全監視船附属「モーターボート」ヲ発見シタル位置及時刻 (1) 午後十一時頃
 一全「モーターボート」最初本船舷側ニ来リ露國監視船ナリト稱シ乗船ヲ求メタル位
 (3) 午後十一時五分

一本船船長「當時船橋ニ在リ本船ノ公海ニ在リテ漁業ニ就事シタルモノ露國也
 受クルノ要ナキ旨ヲ述ヘ其乗船ヲ拒絶セリ(通譯「白魯漢業会社ノ者ナリ
 後(4)ノ位置ニ於テ本船事務主任「露國官吏ノ通告ニ對シ重要書類
 三供シ難キ旨ヲ述ベ其乗船ヲ拒絶セリ然ルニ全十一時四十分頃「モーターボート
 去リ其後(6)ノ位置「暗夜ニテ見分ケ難ナリ
 一全監視船ガ本船ト宝来丸ト間ヲ遮断セル位置及時刻(8) 午後十一時四
 一全監視船(無燈)ヲ復ニ発見シタル位置及時刻(9) 午後十一時

沈没事件畧圖

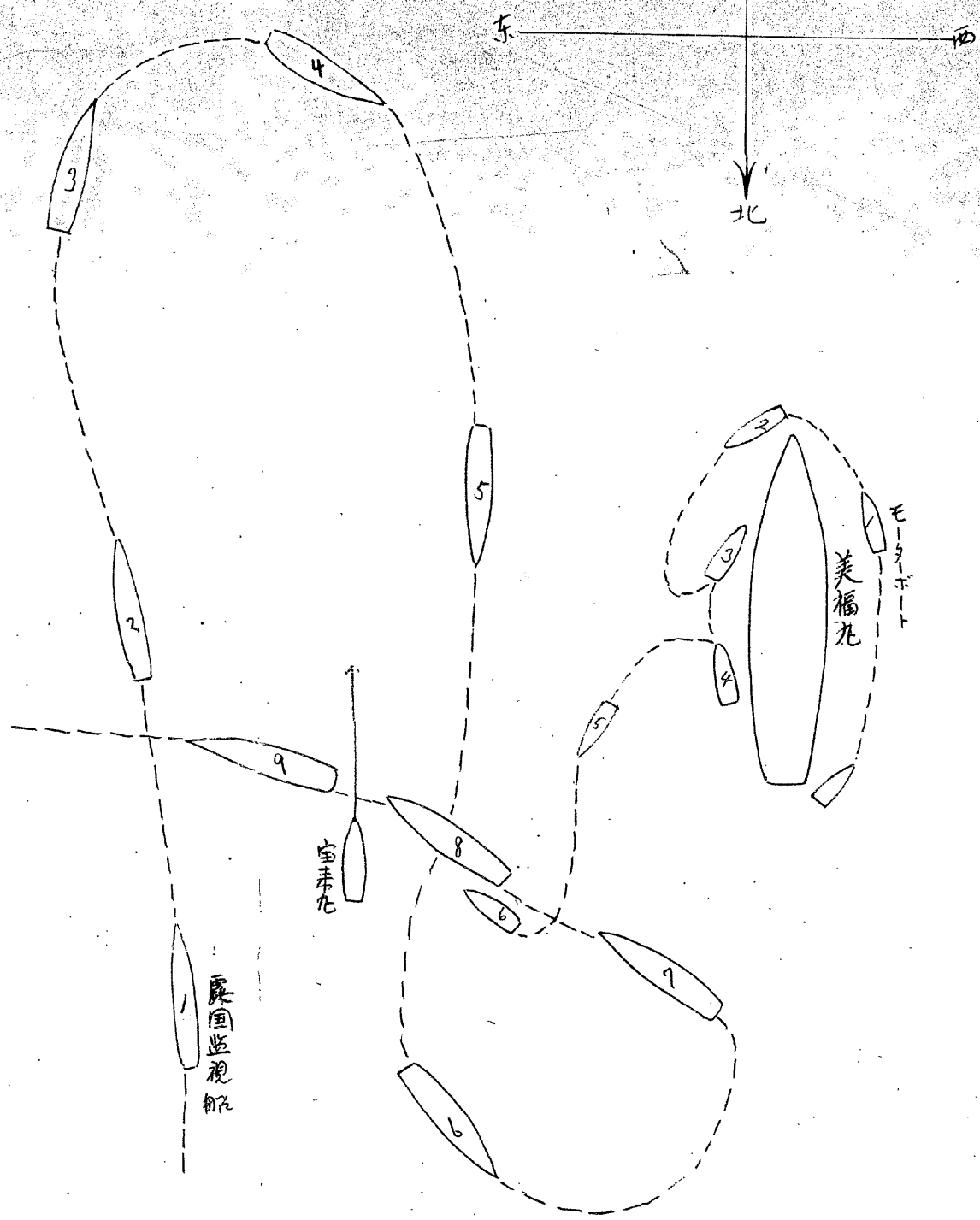
(大正十五年八月十日 自午後十時五十分 至午後十一時五十分)

位置 北緯五十四度三十三分東經百五十五度二十九分 巨岸八哩半

北位置 本船ノ北東 巨岸約一哩半

監視船形状 三本槽「ク」形三百屯位 補助發動機船

荒天暗夜



監視船(無燈)ヲ最初ニ発見シタル位置及時刻 (1) 午後十時五十分

沈船附属「モーターボート」ヲ発見シタル位置及時刻 (1) 午後十一時頃

「モーターボート」最初本船舷側ニ来リ露国監視船ナリト称シ乗船ヲ求メタル位置及時刻

十一時五分

船長「當時船橋ニ在リ本船ハ公海ニ在リテ漁業ニ就事シタルモノ露国官吏ノ臨檢ヲ

ノ要ナキニテ速ヘ其乗船ヲ拒絶セリ(通譯「日魯漁業会社ノ者ナリト云ヒタリ」)其ハ

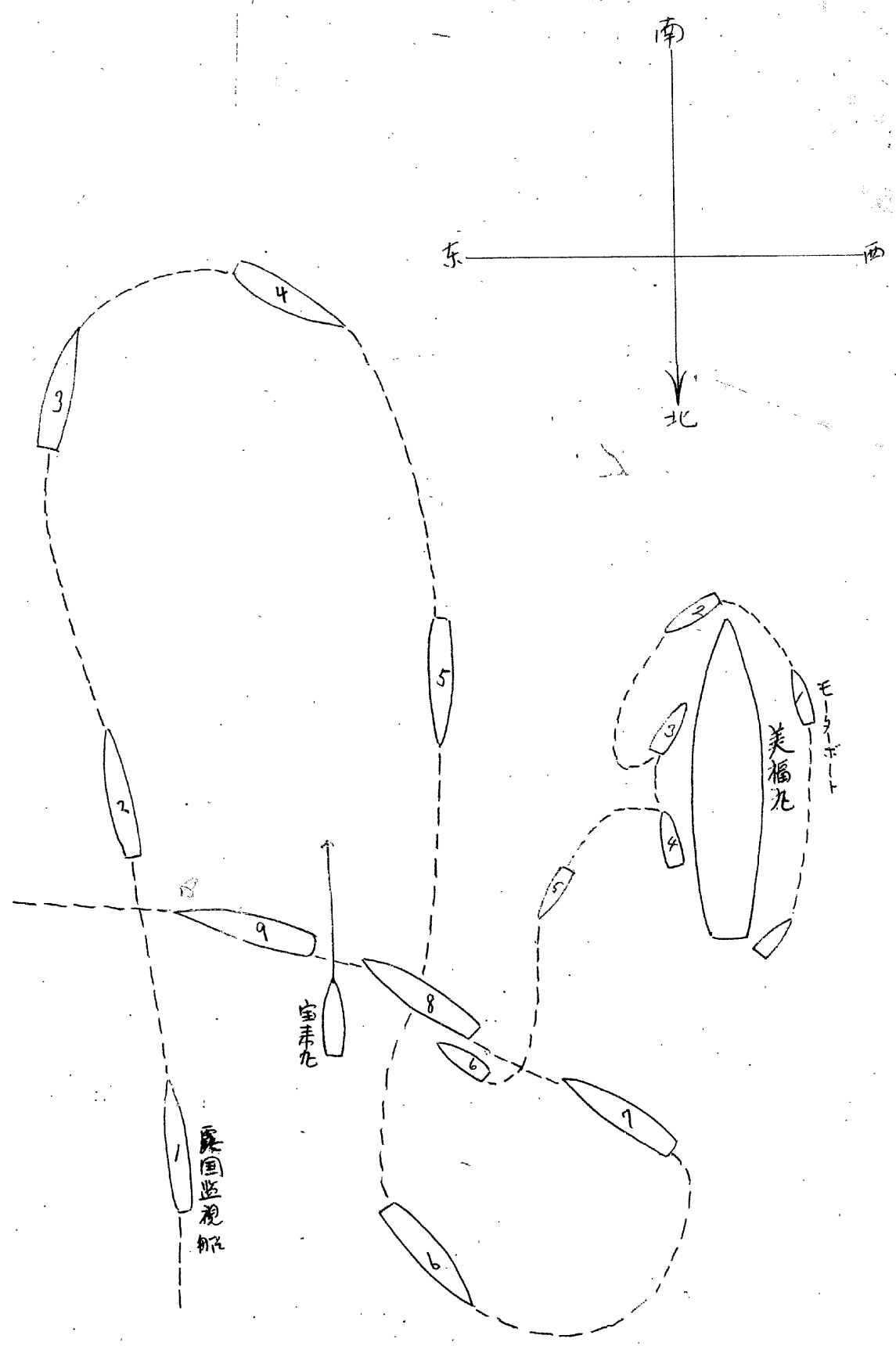
難キニテ速ヘ其乗船ヲ拒絶セリ然ルニ全十一時四十分頃「モーターボート」ハ(4)ノ位置ヲ

具後(6)ノ位置「暗夜ニテ見分ケ兼ネタリ

監視船ガ本船ト宝来丸トノ間ヲ遮断セル位置及時刻 (8) 午後十一時四十分頃

後船(無燈)ヲ最後ニ見失ヒタル位置及時刻 (9) 午後十一時五十分

- 一 當時陸岸に取付た汽機、位置 巨岸約五哩半
- 一 露國監視船形状 三本櫓の「ナ」形三百屯位補助汽動機船
- 一 天候 荒天暗夜



一 露國監視船(無燈)ヲ最初ニ発見シタル位置及時刻 (1) 午後十時五十分

一 全監視船附屬「モーターポート」ヲ発見シタル位置及時刻 (1) 午後十一時頃

一 全「モーターポート」最初本船舷側ニ来リ露國監視船ナリト稱シ乗船ヲ求メタル位

(3) 午後十一時五分

本船船長「當時船橋ニ在リ本船ハ公海ニ在リテ漁業ニ就事シタルモノ露國空

受ルノ要ナキ旨ヲ述ヘ其乗船ヲ拒絶セリ(通譯曰魯魯漁業会社ノ者ナリ

後(4)ノ位置ニ於テ本船業務主任「露官更ノ通告ニ對シ重要書類

ニ供シ難キ旨ヲ述ベ其乗船ヲ拒絶セリ然ルニ全十一時四十分頃「モーターポート」ハ(4)ノ

去リ其後(6)ノ位置ニ暗夜ニテ見分ケ兼ネタリ

一 全監視船が本船ト宝来丸トノ間ヲ遮断セル位置及時刻 (8) 午後十一時

一 全監視船(無燈)ヲ最後ニ見失ヒタル位置及時刻 (9) 午後十一時五十分

一 當時帝國駆逐艦ハカセ錨泊位置 本船ノ北東 巨岸約三哩

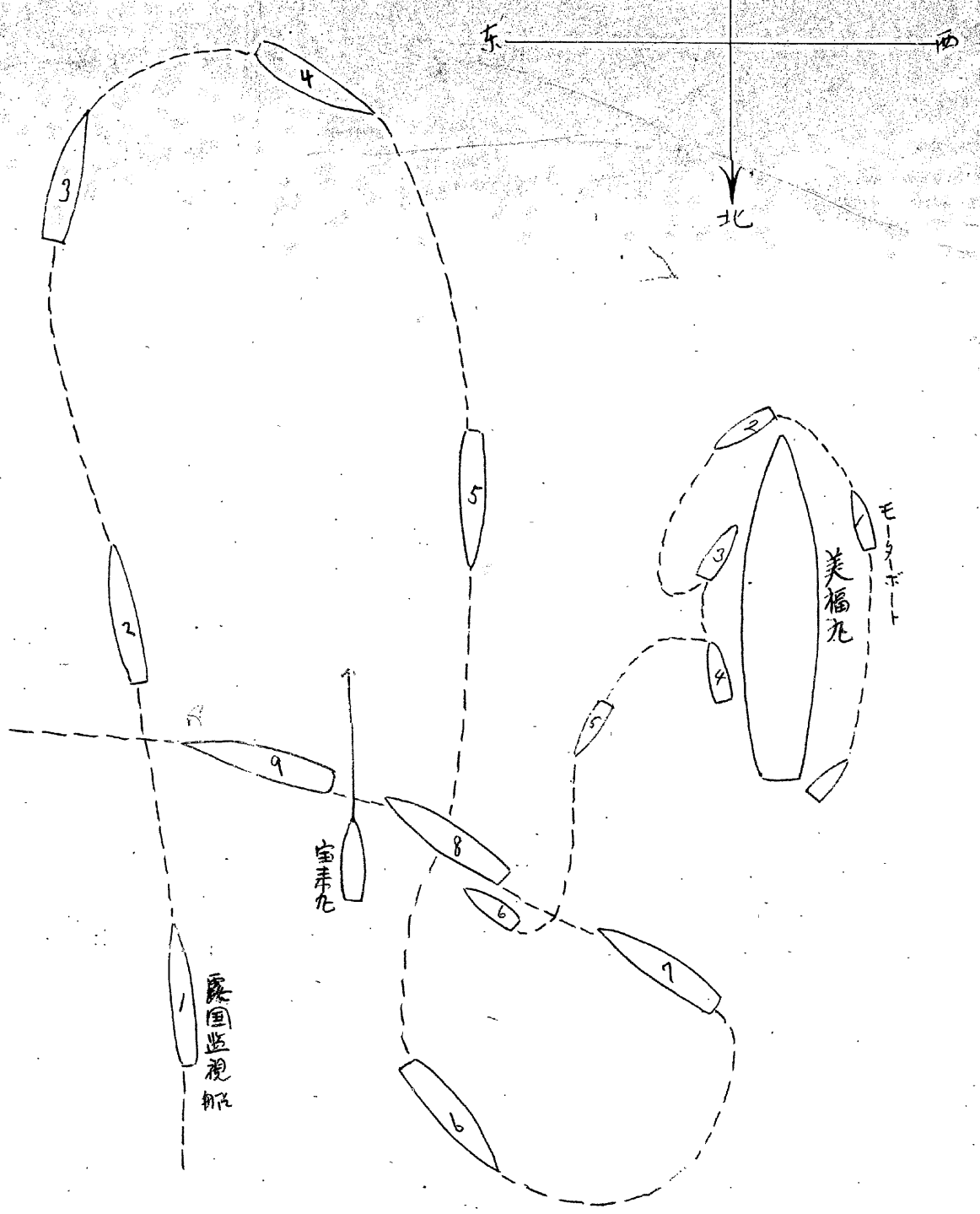
一 第四駆逐隊司令海軍大佐岩崎本考殿

一 當時本船ノ規定ノ碇泊燈ヲ掲ケ上甲板ハ總電燈ヲ点シ居タリ

一 當時荒天暗夜ニテ因上ノ各船位置及巨岸等ニ付テハ本船ヨリ見分ケ

ノニシテ精確ヲ缺ク

陸岸三日最モ近キ沈没網ノ位置 巨岸約五哩半
 監視船形状 三本櫓ノクナリ形三百屯位 補助発動機船
 荒天暗夜



監視船(無燈)ヲ最初ニ発見シタル位置及時刻 (1) 午後十時五十分
 監視船附属「モーターボート」ヲ発見シタル位置及時刻 (1) 午後十一時頃
 「モーターボート」最初本船舷側ニ来リ露國監視船ナリト称シ乗船ヲ求メタル位置及時刻
 此十一時五分

船長「當時船橋ニ在リ本船ハ公海ニ在リテ漁業ニ就事シタルモノ露國官吏ノ臨檢ヲ
 ノ要ナキ旨ヲ述ヘ其乗船ヲ拒絶セリ(通譯「日魯漁業会社ノ者ナリト云ヒタリ) 其
 位置ニ於テ本船業務主任「露國官吏ノ通告ニ對シ重要書類ハ絶体ニ檢閲
 難キ旨ヲ述ベ其乗船ヲ拒絶セリ然ルニ全十一時四十分頃「モーターボート」(4)ノ位置ヲ
 其後(6)ノ位置ニ暗夜ニテ見分ケ兼ネタリ

監視船ガ本船ト宝来丸トノ間ヲ遮断セシ位置及時刻 (8) 午後十一時四十分頃
 監視船(無燈)ヲ最後ニ見失ヒタル位置及時刻 (9) 午後十一時五十分
 時帝國駆逐艦ハカセ錨泊位置 本船ノ北東 巨岸約三哩
 四駆逐隊司令海軍大佐岩崎本考殿
 時本船規定ノ碇泊燈ヲ掲ケ上甲板ニ總電燈ヲ点シ居タリ

時荒天暗夜ニテ因上ノ各船位置及巨岸等ニ付テ本船ヨリ見分ケ得タル程度ノモ
 ニテ精確ヲ缺ク

Kawachini B.

北緯五十七度十七分
山 九羽尾

北緯五十七度十分
山 神宮
Haringora pt

北緯五十七度二分
山 九太樺

北緯五十六度五十六分
山 九東陸

北緯五十六度四十三分
山 九靈

北緯五十六度二十六分
山 九島巖

Sopoch...

堪

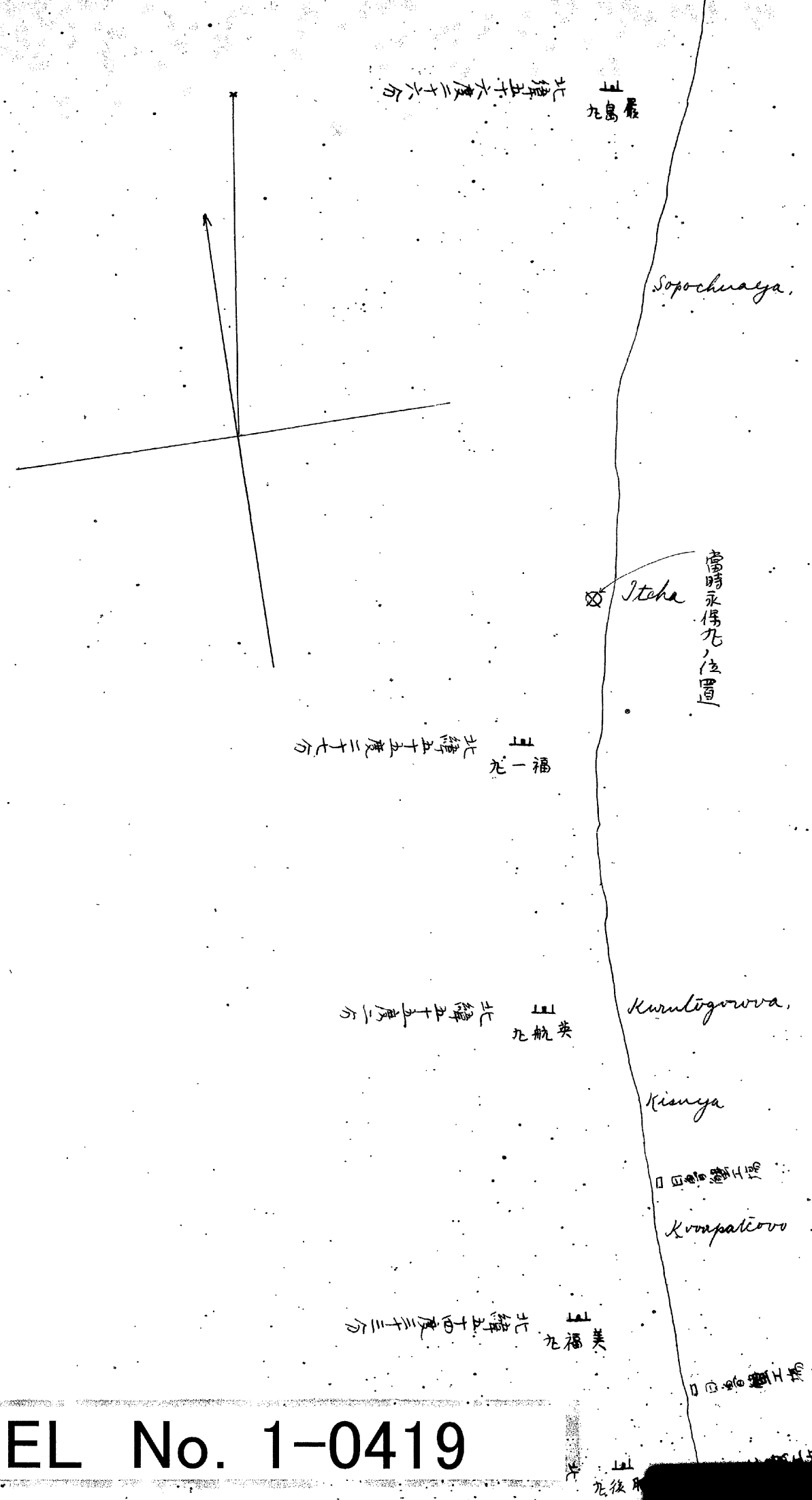
解
工
船
配
四
直

REEL No. 1-0419

0428

工船配置圖 (大正十五年八月五日現在)

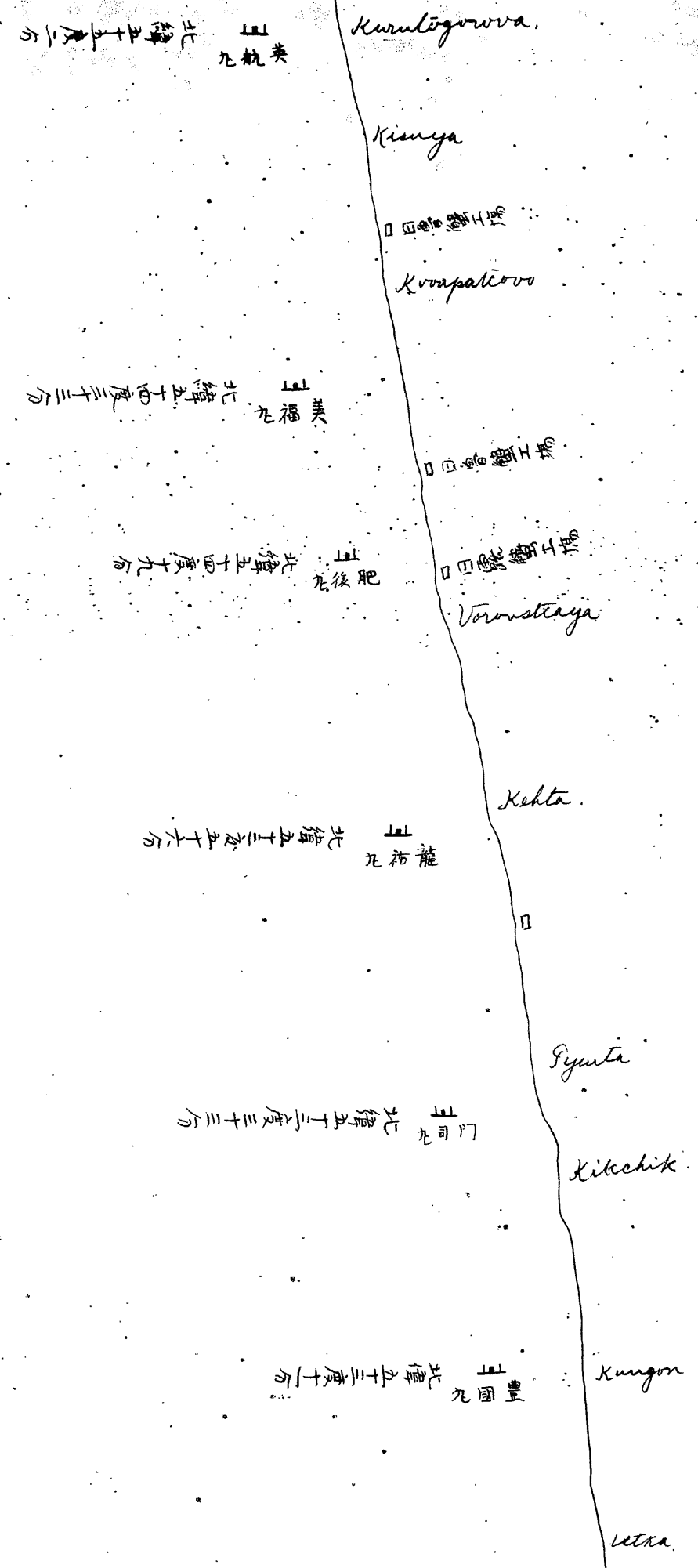
堪察加



REEL No. 1-0419

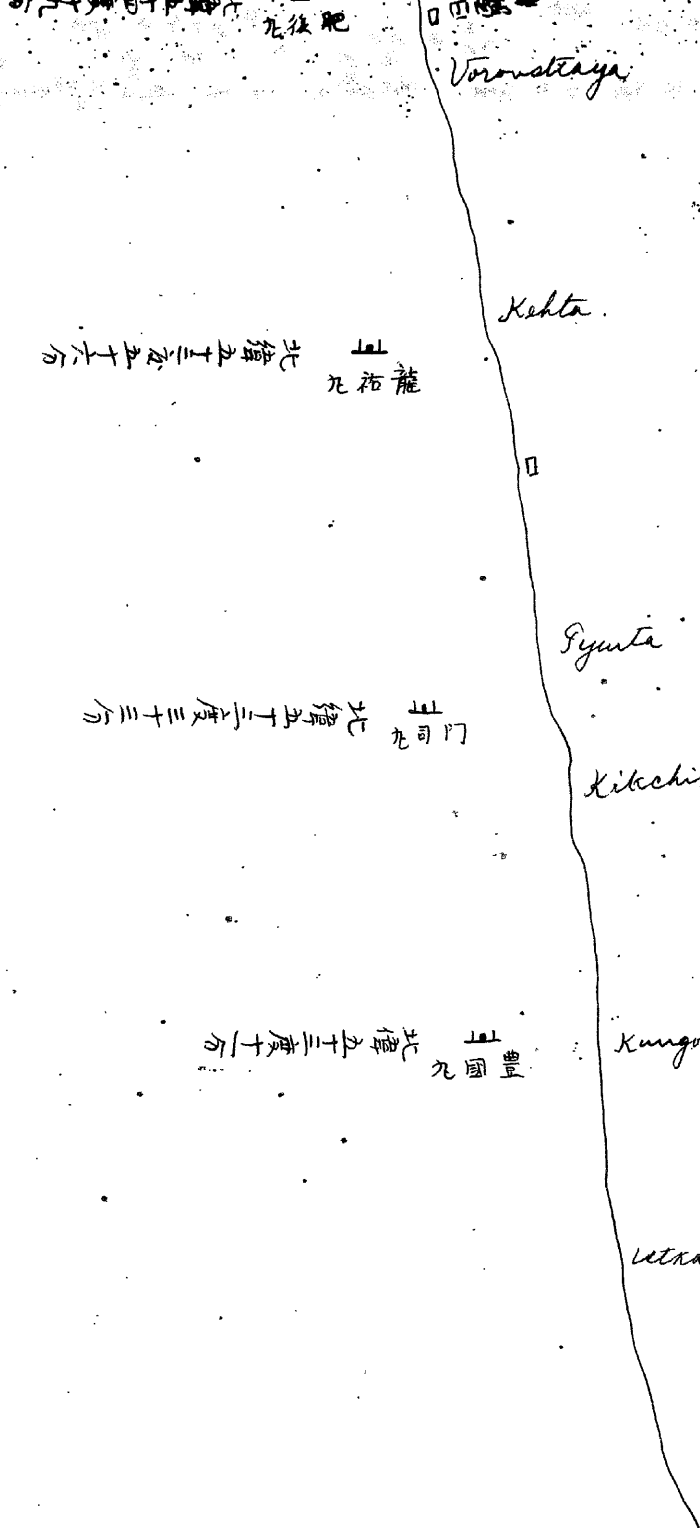
0429

現在



REEL No. 1-0419

0430

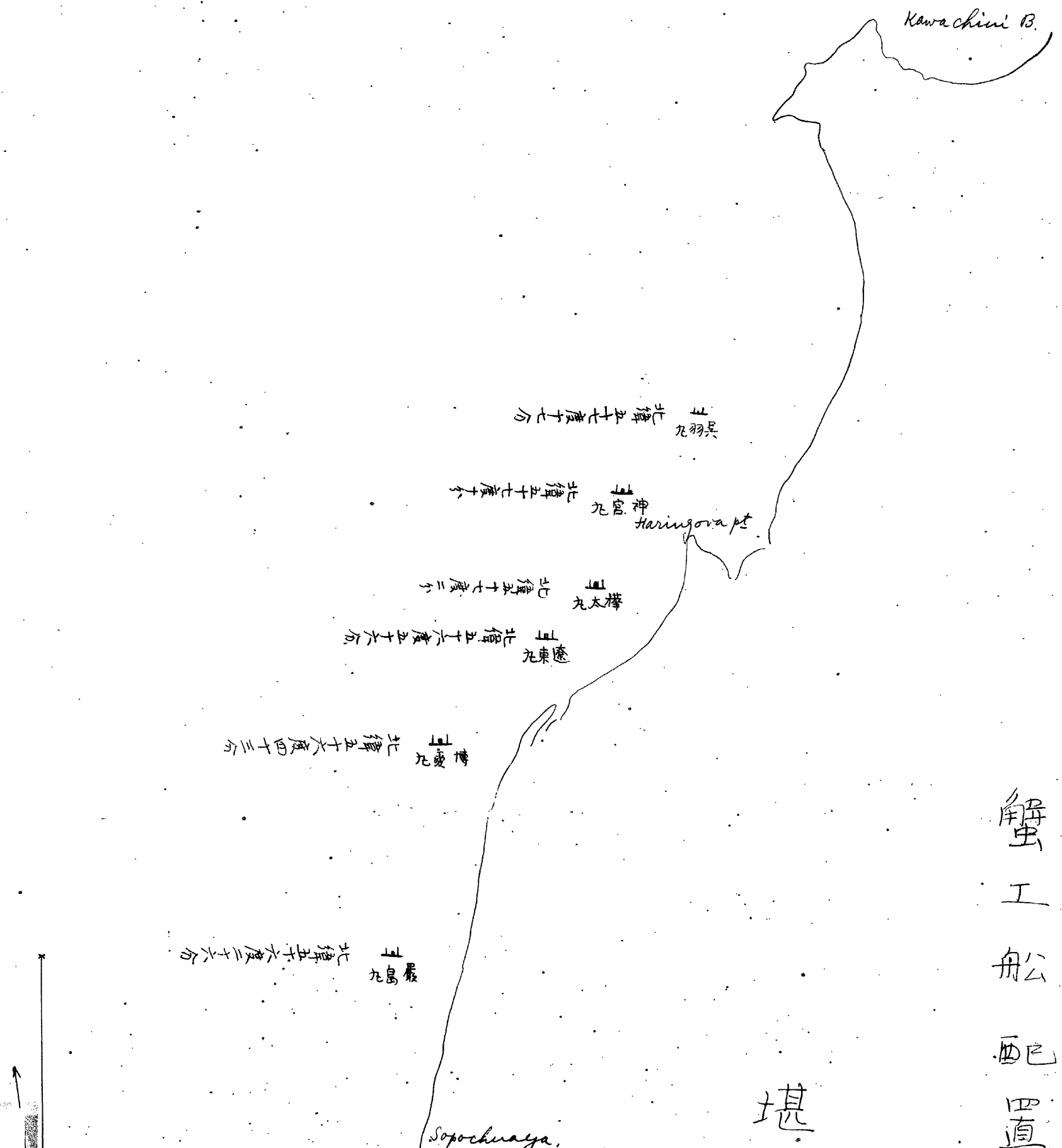


REEL No. 1-0419

0431

REEL No. 1-0419

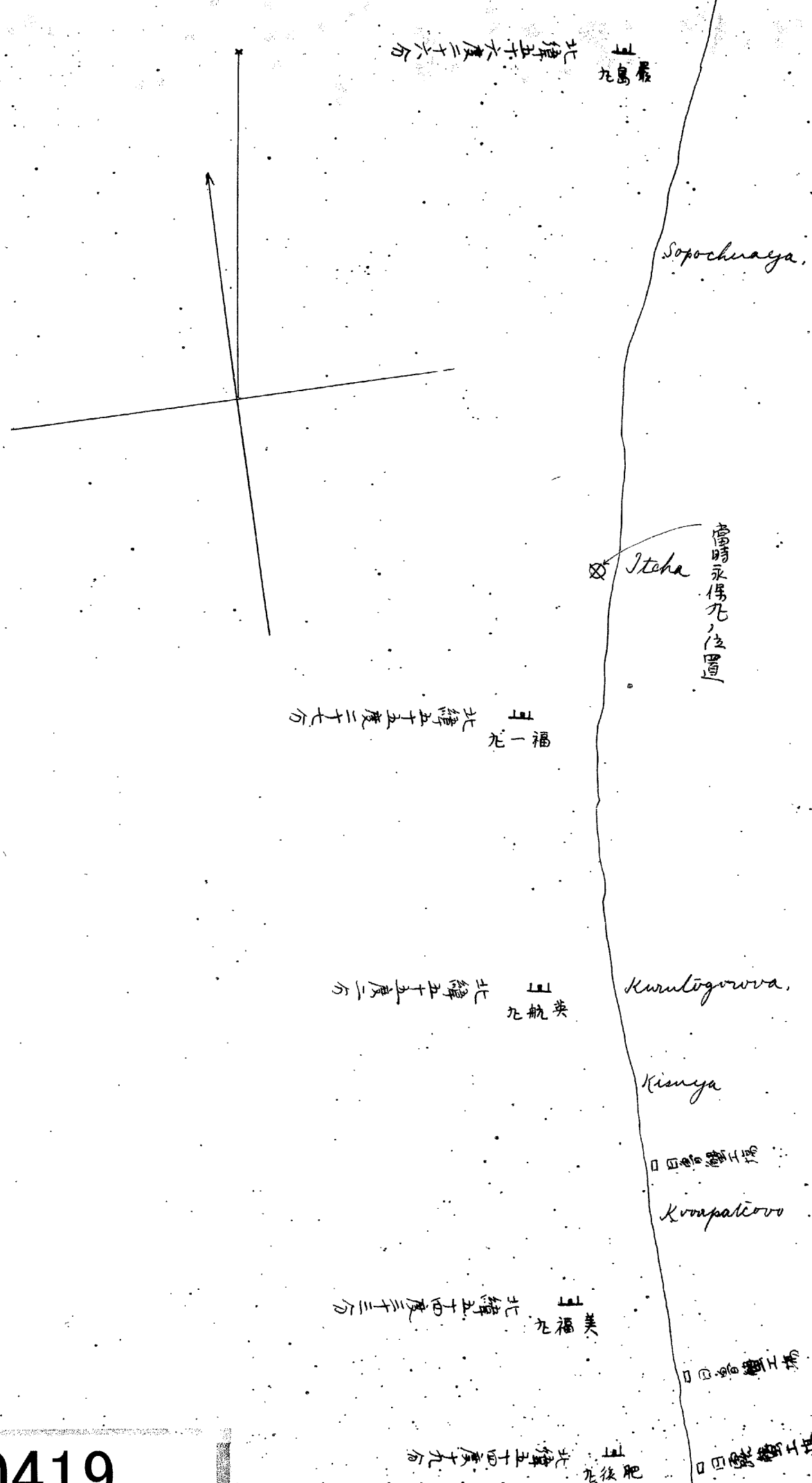
0432



蟹
工
船
配
置
田

船配直界圖 (大正十五年八月五日現在)

堪察加



REEL No. 1-0419

0433

目現在

北緯五十五度二分 九航英

Kurulogorova

Kiarya

□ □ □ □ □ □

Kropalovo

北緯五十四度三十三分 九福美

□ □ □ □ □ □

北緯五十四度九分 九後肥

□ □ □ □ □ □

Voronstaya

北緯五十三度六分 九祐龍

Kehta

□

Pymta

北緯五十二度三十三分 九司門

Kibchik

北緯五十二度十分 九國豐

Kungon

Letka

REEL No. 1-0419

0434

北緯五十四度十九分
東經九十二度

北緯五十四度
Voronskaya

北緯五十二度五十六分
東經九十二度

Kakta

北緯五十二度三十三分
東經九十二度

Pjunta

Kikchik

北緯五十二度十一分
東經九十二度

Kungon

Letka

REEL No. 1-0419

0435

露國監視船ノ不法行爲ニ關スル真相報告

去ル八月拾日夜十一時頃闇夜ニシテ風浪高キニモ不拘突如貳百噸型三本橋補助帆船無燈ノ儘本船々尾ニ近ヅキ來リ次デ間モ無ク露國官憲六、七名（内一名邦人通譯アリ日魯漁業會社ノ者ナリト云ヒタリ）モーターボートニ乘込ミ本船左舷船橋下ニ來リ『吾等ハ露國官憲ナルガ取調ノ要アリ重要書類ヲ提出セヨ』トノ事ナリシガ本船ハ最初ヨリ距岸約八湮ノ公海ニ碇泊シ居リ且ツ領海内ヘ投網セシ事ナク隨ツテ彼等ヨリ強制的ニ取調ヲ受クルノ理由ヲ認メザレバ當時船橋ニ居タル船長ハ『公海ニ於テ露國官憲ノ臨檢ヲ受クル理由ナシ』且ツ『重要書類ハ絶對ニ檢閲ニ供シ難シ』ト斷然彼等ノ要求ヲ拒絶シタルニ二、三ノ捨臺詞ヲ殘シテ闇中ニ消エ去リ申候

然ルニ程無ク附近碇泊中ノ本船所屬發動機船寶來丸ノ姿見ヘザルニ不審ヲ抱キ發火信號及汽笛信號其他有ラユル手段ヲ盡シテ在否ヲ確メタルニ何等ノ應答無ク愈々同船ハ乗組員六名ト共ニ彼等ニ掠奪サレタル事判明致シ今更ナガラ露國官憲ノ海賊的惡辣行爲ニ一同驚愕仕候、爰ニ於テ不取敢附近碇泊中ノ我驅逐艦羽風（司令座乘）及金鷄丸ニ無電ヲ以テ右ノ顛末ヲ報告スルト共ニ寶來丸ノ救助方ヲ歎願致シ候へ共乍遺憾當夜ハ咫尺ヲ辨ゼザル闇夜ナルニ加フルニ荒天ノ事トテ如何トモナシ難ク已ヲ得ズ曉明ヲ待チ本船附近ヲ隈ナク搜索セシモ遂ニ發見スルニ至ラズ一方羽風ハ大湊司令官ニ打電シ搜索ノ爲メ出動準備致シ吳レタルモ暗夜ニ乘ジ急襲掠奪サレタルモノナレバ何レノ方向ヘ曳航遁走セシヤ皆目見當附カズ依テ兎モ角各工船ニ此ノ出來事ヲ打電シ露船ノ行方探索中ノ處午後六時（十一日）頃ニ至リ大日山丸南航シ來リ（途中寶來丸ラシキ發動機船ヲ曳キ北航シツツアル露監視船ヲ『イーチャー』附近ニテ認メタリ）トノ第一情報ヲ得次デ『イーチャー』八島蟹漁場ニ切揚ノ爲メ來航碇泊中ノ永保丸ヨリ『露國監視船發動

機船一隻ヲ曳キ北航シツツアリトノ飛電アリ茲ニ於テ初メテ露船ノ行動判知シ愈々掠奪後曳航北上シツツアルヲ確メ得タルニ依リ主任ハ直チニ羽風ニ司令ヲ訪ヒ救助方ニ就キ歎願致シ候處「本年ハ驅逐艦及金鷄丸ト雖モ領海内ニ立入ル場合ハ一應吾政府ノ許可ヲ得ザレバ出來難ク目下政府ハ訓電ヲ仰ギ居レバ電命アリ次第出動スベシ」トノ事ニ有之候然ルニ二十二日午前八時頃樺太丸ヲ辭シ南航中ノ中積船春海丸ヨリ「露船ハ寶來丸ヲ曳キ北上スルヲ偶然發見目下追航中也」トノ旨博愛丸無線局ヲ經テ通報アリタルニ依リ再度羽風ニ出動ヲ願ヒタルニ當時北方警備中ノ帆風ニ出動命令ヲ發シタル趣キナレバ一方春海丸ニ對シテハ露船ト接觸ヲ保チ彼等ヲシテ遁走セシメザル様「露船ノ行動ヲ充分監視セヨ」ト電告致シ置候然ルニ同日午後ニ至リ春海丸ヨリ樺太丸附近ニ於テ帆風ノ出動ニ據リ「寶來丸ノ船體ダケ取戻シ樺太丸ニ保管方依頼セリ」トノ報ニ接シ候（此時寶來丸ノ機械ノ

一部及豫備品並ニ器具ノ大部分剝奪サレ居リ自力航行不可能ナリト樺太丸ヨリ通信アリタリ)

一方乗組員六名ノ消息ニ就テハ十二日永保丸船長ヨリ「露船ハ「イーチャ」ニ寄セ右六名ニ日魯漁業會社ノ通譯増田ト露官吏二名ヲ附シテ本船ニ委託移乗セシメ露船ハ更ニ北上ス而シテ六名ハ陸上官憲ニ引渡サレタリ」トノ無電アリタレバ此ノ場合永保丸船長及八島漁場員ノ盡力ヲ仰ギ解放方ヲ交渉スルノ便誼輕捷ナルヲ信ジ夫レ々依頼致置候處十三日朝ニ至リ更ニ永保丸船長ヨリ「本國ニ歸國ノ上美福丸へ引渡シセヨトノ條件ニテ六名ハ解放サレ目下本船ニ預リ居レリ」トノ無電ニ接シタレバ此旨羽風司令ニ報告スルト同時ニ福丸ニ依頼シテ春海丸ニモ通知セリ同日午後一時羽風ハ「イーチャ」沖ニ向ケ出動十四日午前一時同沖合ニ於テ春海丸ニ出遇ヒ寶來丸取戻シ方法ニ就キ種々協議ノ結果春海丸ヨリ永保丸ニ宛テ「本船ハ

軍艦羽風ト打合ノ上寶來丸乗組員受取ノ爲メ六時頃貴船碇泊地三哩外ニ無投鑑ノ儘待合ス右乗組員送届方御配慮願フ旨通電セルニ對シ永保丸ヨリ「荷役済次第寶來丸乗組員ヲ渡ス故領海外ニテ待テ」トノ返電アリタレバ春海丸ハ直チニ「イーチャ」沖距岸四哩ノ位置ニ至リ待合セタルニ午後二時寶來丸乗組員六名八島漁場發動船ニテ送り返サレ漸クニシテ無事本船ニ收容スルヲ得申候

以上計ラザル椿事發生ノ爲メ本船作業入上ニ拗カラザル蹉跌ヲ生ジタルハ誠ニ遺憾ニ堪ヘザル次第ニ候得共人命ニ死傷ナカリシハ不幸中ノ倖ト存候然シテ露國監視船（船名ブリユハノフ號）ガ荒天ノ夜陰ニ乗ジ而カモ無燈ニテ本船ヲ急襲シ遂ニ發動機船寶來丸ヲ掠奪スルニ至リタル真相ハ當夜露船ニ通譯トシテ乗組居タル日魯漁業會社「オロスコイ」漁場通譯某ヲ詰問セバ其間ノ消息自カラ判明スルモノト存候

惟フニ公海ニ於テ而カモ帝國軍艦ノ碇泊セル附近ニ於テ暴戾極リナキ掠奪行爲ハ人道上ヨリスルモ將又帝國國威ノ上ヨリ見ルモ默視スベカラザル重大問題ニシテ若シ此レヲ一局部ニ發生セル小事件トシテ等閑ニ附シ去ランカ彼等ノ恣ニ跋扈跳梁ヲ許スニ似テ斯クテハ將來吾々工船業者ハ固ヨリ洋上漁業ニ從事スル者ノ安ンジテ業務ニ精勵スルヲ得ザル而耳ナラズ甚シク斯業ノ發展ヲ阻害スルモノナレバ帝國ノ威信ト工船將來發展ノ爲メ此ノ不法行爲ニ對シ強硬ナル交渉ヲ開始セラレン事ヲ切望致候

愚考スルニ彼等ノ第一計畫ハ本船ノ寢込ミヲ襲ヒ本船ヲ強奪セントセシモノナルガ幸ニ本船ハ當夜夜業ヲナシ未ダ寢込ニ就カザルモノアリシ爲メ所期ノ目的ヲ達シ得ズ遂ニ第二行動トシテ所屬船寶來丸ヲ掠奪スルニ至リタルモノト存候闇夜、荒天、無燈ニテ本船ヲ急襲セル等ノ諸點ヨリセバ蓋シ當ラズト雖モ遠カラザル推斷ナリト存候尙御考察ノ資料トシテ當夜露人ノ行

動ニ就キ別紙ノ通り圖解添附致候間御一覽被下度候
右御報告ニ及候也
拜 具

大正十五年八月十五日

美福丸業務主任 三浦 玄三 印
同 船長 熊谷 亥之助 印

株式會社 八木本店
御 中

REEL No. 1-0419

0439

寶來丸事件ニ依リ蒙リタル損害届

一金五萬〇九百圓也

内 譯

一金參萬貳千五百圓也

寶來丸掠奪サレシ爲八月十一日ヨリ同十六日迄六日間美福丸作業中止

ニ依ル損害、即チ當時ノ製造能率ヨリ見テ半斤罐壹千函也ノ減收

一金九千六百圓也

事件發生當時沈設網壹千六百反放棄セン損害時價壹反（附屬品共六圓也）

一金壹千八百圓也

搜索ノタメ春海丸ヲ三日間使用（一日六百圓也）

一金五千圓也

寶來丸船體及機械修理費

金參千圓也

同船甲板部、機關部備品消耗品ノ不足見積高

金壹千五百圓也

同船乗組員六名ノ手廻品ノ損害高

金五百圓也

一金貳千圓也

舞漁船神峰丸へ補給漁業鹽積送船春海丸ヲ搜索ニ使用延着ニヨリ漁業

用鹽缺乏ノ爲漁業中止ニ依ル損害、即チ當時ノ漁獲能率一日千貳百五

拾尾四日分五千尾減收

右之通り御座候也

大正十五年九月三日

株式会社八木本店

八木實通

工船蟹漁業水産組合

男爵 岩倉道俱殿



寶來丸事件ニ依リ蒙リタル損害届

REEL No. 1-0419

0441